

第11回 日韓NGO湿地フォーラム・ 国際湿地NGOワークショップ

日時: 2016年 **10月29日(土)／30日(日)**

会場: **岐阜市民会館・会議室80**(29日)／**展示ギャラリー**(30日)

岐阜市美江寺町2丁目6番地 TEL058-262-8111

主催: NPO法人ラムサール・ネットワーク日本 共催: 韓国湿地NGOネットワーク

協力: よみがえれ長良川実行委員会

日韓の湿地NGOは過去20年以上も湿地保全について協力し、また2007年から10回のフォーラムを開き、相互の取り組みを深めてきました。2008年ラムサールCOP10における水田決議や、世界湿地ネットワークの設立等を通し地域NGOの政策提言が国際条約や、国家政策など湿地保全を前進させたことはその成果といえます。一方でセマングム干拓や、諫早湾干拓など、個々の湿地を保全できないケースが存在し、湿地に関する課題は山積しています。

湿地の保全は現場から始まり地域のNGOが鍵を握っています。しかしどの地域も目前の問題は大きく、全国・世界に向けた対応がますます困難になっています。

そこで、これまでの日韓フォーラム・世界湿地ネットワークの活動の総括し、いくつかの湿地の近況を共有したうえで、現場の課題と地球規模の課題の接点を考察し、国際条約に向けたNGOの関わり方や、日韓フォーラムのあり方の今後の方向性を探りたいと考えています。是非ご参加ください。

●参加申し込み／フォーム: <https://goo.gl/2B4ma6> 又は、info@ramnet-j.org までメールで

①お名前、②ラムネットの会員の有無、③参加を希望する日、④メールアドレス、⑤電話番号(携帯)、⑥その他、をお送りください。

●参加費(資料代込)／当日 2,000円(会員1,500円)(10月20日まで事前申し込みの場合1,500円(会員1,000円))

当日会場の受付で、現金にてお支払いください。



チョナム貯水池
(豊かな水量が農地を支え、冬鳥を支えている)

長良川の清流、
ここに徳山ダムの水の放流計画が！

ナクトンガン河口に集まったオオハクチョウ



ナクトンガン河口

海ガメ(表浜)

表浜

河口堰開門、導水路計画中止は市民の願い

長良川河口堰

1

日時: 10月29日[土] 9:30~16:45
会場: 岐阜市民会館・会議室80

〈開会挨拶〉 前川 盛治 〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉
〈趣旨説明〉 柏木 実 〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

〈第1部〉

国際条約にとってNGOはどんな存在か?

■基調講演-1

「ラムサール条約とNGO」

ルー・ヤン博士 〈ラムサール条約事務局〉

■基調講演-2

「ラムネットJの条約決議採択に向けた活動 ー水田決議と国連生物多様性の10年ー」

呉地 正行 〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

〈第2部〉

地域NGOの活動にとって 国際協力はどんな力になるのか?

■現地からの報告

「長良川河口堰開門への課題と日韓交流」

武藤 仁 〈長良川市民学習会 事務局長〉

【休憩／昼食】

「湿地保全に向けた日韓協力」

柏木 実 〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

■湿地保全の現状

「水の流れを守る闘い」

日本: 陣内 隆之 〈ラムサール・ネットワーク日本 理事〉

「4大河川事業による被害と住民訴訟」

韓国: イ・ダソム 〈グリーンコリア 活動家〉

■現場から

「ナクトンガンの水門開放」

韓国: キム・キョンチョル 〈KWNN 事務局長・湿地と鳥の仲間たち〉

「トタ湖登録を目指す啓発活動」

コロンビア: フェリペ・ベラスコ 〈モンテシート財団 事務局長〉

「コウノトリとファボチョン」

韓国: イム・ジヨムヒャン 〈韓国水田湿地ネットワーク 事務局長〉

「ナベヅルとチュナム貯水池」

韓国: イム・ヒジャ 〈馬山・昌原・鎮海環境運動連合政策室長〉

「クロツラヘラサギ保全と日韓協力」

韓国: ナム・ソンジョン 〈仁川クロツラヘラサギネットワーク〉
日本: 松本 悟 〈日本クロツラヘラサギネットワーク〉

2

日時: 10月30日[日] 9:30~16:45
会場: 岐阜市民会館・展示ギャラリー

「〈第2部〉のまとめと問題点」

丸山 明子 〈ラムサール・ネットワーク日本 理事〉

〈第3部〉

国際条約会議に向け地域NGOは どんな働きかけをしてきたか?

「国際条約会議におけるNGOの成果と課題」

柏木 実 〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

「WWNの活動とその評価」

クリス・ロストロン 〈WWN 前代表、英国 水鳥・湿地トラスト(WWT)〉

「COP12におけるNGOにとっての成果」

ルーズ・ダフ 〈WWN代表、オーストラリア Conservation Volunteers〉

「韓国湿地運動とその国際湿地運動における意味」

キム・チュニ 〈韓国環境運動連合 事務局次長〉

【休憩／昼食】

〈第4部〉

地域NGO・国際条約・国際協力のこれから

■全体討論 進行: 柏木実、丸山明子

《テーマ1》

「国際条約(ラムサール、CBD)に 地域NGOは何を期待し、どう関われるか」

《テーマ2》

「国際NGOがつなぐ地域NGOと国際条約」

■グループ討議

《グループA》 進行: 浅野正富、陣内隆之

「今後の日韓交流」(日本語・韓国語)

《グループB》 進行: 柏木実、丸山明子

「WWNの今後」(英語)

■討議結果の報告

・全体のまとめ: 柏木実

〈開会挨拶〉 堀 良一 〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉



ラムサール・ネットワーク日本
〒110-0016 東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3F
TEL/FAX: 03-3834-6566 info@ramnet-j.org
http://www.ramnet-j.org



※この事業は自然保護助成基金の
支援を受けて実施しています。

